

河南町小学生子ども議会

平成 21 年 2 月 4 日開催

【まえがき】

河南町では、平成 13 年に「みどりと文化 活気あふれる健康のまち」を将来像とする第三次総合計画を策定し、それを指針としてまちづくりを進めています。

第三次総合計画は、概ね 21 世紀の第 1 四半期頃を展望したまちづくりの基本構想とそれに基づいて施策の基本的内容と実現化方策を定めた基本計画により構成されています。基本計画は、概ね平成 22 年（2010 年）を目標年次としており、現在、新たな総合計画の策定作業を進めています。

そこで、町では、新たな総合計画の策定に当たって、河南町の次代を担う子どもたちの率直な意見を聞かせていただくため「小学生子ども議会」を実施しました。

小学生子ども議会には、町内 5 つの小学校 5・6 年生の代表 20 人が参加。前半・後半に分け、それぞれ議長（前半・白木小学校 6 年 上田 啓世さん、後半・中村小学校 6 年 芝 景司君）が議会運営を行いました。

子ども達は、各小学校の各学年、各クラスで考えた質問を、参加した児童が代表であるという自覚のもとに、はっきり大きな声で質問を行いました。

小学生子ども議会で出された質問、意見、要望などは、今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

河南町小学生子ども議会記録

1. 日 時 平成 21 年 2 月 4 日 (水)
午後 3 時 30 分 開会 午後 5 時 50 分 閉会
2. 場 所 河南町議会議場
3. 出席者
- | | | |
|-------|-----------|------------|
| 石川小学校 | 井田 亮 | 吉岡 杏奈 |
| | 坪下 亮介 | 桐石 安菜 |
| 白木小学校 | 田中 大暉 | 上田 啓世 (議長) |
| | 岡本 俊平 | 田上 芹梨奈 |
| 河内小学校 | 岡田 朝斗 | 武田 瑠美 |
| | 高幣 佳之介 | 栗田 肖未 |
| 中村小学校 | 芝 景司 (議長) | 高橋 実里 |
| | 森口 嘉軌 | 田中 春菜 |
| 大宝小学校 | 園田 匠海 | 長尾 歩実 |
| | 黒木 嶺 | 牧野 有紗 |
- 町
- 武田町長 江島副町長
浅野教育長 新田総合政策担当理事
高野総務部長 池田住民部長
上條健康福祉部長 大橋まち創造部長
福本会計管理者 葛田教育次長
富田消防長 森田企画財政課長
片本総務防災課長 牧生活環境課長
山口子育て健康課長 松田施設整備課長
松田まちづくり推進課長
奥野 多村
- 議会
- 廣谷議長 小山副議長
林議会事務局長 渡辺議会事務局次長

【武田町長あいさつ】

議員の皆さんこんにちは。

河南町小学生子ども議会にご参加をいただきましてありがとうございます。

なぜ、小学生の子ども議会を開催することになったかと申しますと、役場では、河南町を将来どのようなまちにするかの基本となる計画を作ります。それに従って、道路や学校を整備したり、高齢者のお世話をしたり、河南町に住んでいる人の健康診断をしたり、色々なことをいたします。

この基本となる計画を総合計画というふうに言っています。今から 30 年前の昭和 54 年に総合計画ができました。平成 3 年に 2 回目の総合計画、第二次総合計画とよんでいます。それができました。平成 13 年に第三次の総合計画ができました。

今回は、その次の計画を策定をしますが、策定というのはですね、方針を決めて、方針に則って物事をきめていくというのが策定という意味ですけど、その策定をするために役場で今、新しい総合計画の準備作業を進めています。

大人の方々に対しましては、既にアンケート調査で、色々ご意見をいただいています。やはり総合計画ですから、町の色々な住民の方に色々ご意見を聞くのが正しいからです。

そして、今日は、わが町の将来を担っていただく、小学生の皆さん方に、色々な意見をお聞きしようと、河南町小学生子ども議会を開催するという事になったわけがあります。

日頃は、この議場で町議会議員の皆さんに役場が進めることについて審議いただいています。審議といいますのは、いろんなことを検討して皆で話し合ってもらおうという意味であります。

今日は、皆さんが町議会議員になったつもりで、のびのびと意見や質問を発表してください。

また、私たち役場の職員がお答えする内容を聞いて、今後の勉強に役立てていただきたいと思います。

以上をもちまして簡単ではありますが、開会のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願い申し上げます。

【廣谷議長あいさつ】

皆さまこんにちは。

河南町議会本会議場によろこそおいでくださいました。

ありがとうございます。

わたくしは、河南町議会議長に選ばれました廣谷 武と申します。

皆さまがお座りになっているその場所は、昨年9月に選挙がございまして、そこで選ばれた12人の町議会議員の席でございます。

本会議中に座っているその席が議席です。

国では国会議事堂、河南町で本会議場です。

河南町の人々がより幸せに暮らせるように、どうすれば良いか審議、検討する場所でございます。

児童の皆さまには、今日の子ども議会に向けて、河南町のまちづくりをどうすればよいか、きっと大人の視点では気づかないことを真剣に考えてくださると思いますので、大変、私自身、楽しみにしております。

子ども議会ですので質問に対して、的確かつ明確にお答えいただき、ぼやかさずに児童の皆さんに、分かっただけのように、傍聴者の皆さまをみすえた回答などはなさないように強く要望いたします。

児童の皆さまには、これを機に政治に興味を持っていただき、『Yes we can(我々是可以するんだ)』河内弁で言うと『よっしゃやったる!』近い将来、この中からこの町を良くするために町長さん、国を良くするために総理大臣、また、世界平和を願ってアメリカ大統領が生まれるよう期待しまして私の挨拶といたします。

本日は頑張ってください。

1 質問者 石川小学校6年 ^{い だ り ょ う}井田 亮 議員

質問事項

題 名 ボール遊びができる広い公園整備について

質問内容

ぼくが理想とする10年後の河南町の未来は、公園がもう少し大きくなって柵が高くなったり、お年寄りから子どもまで、みんなが集まってにぎやかに暮らせる町づくりにしてほしいことです。

だいぶ前、石川地区の大ヶ塚公園で遊んでいたとき、友達が、「大ヶ塚公園って大宝の公園より狭いし、ボールとかどこかへ行ってしまうから、嫌やなあ。」と言っていました。それを聞いたぼくは、「これを河南町のえらいさんに言えたらいいな。」と思いました。実は、こんな話を友達とたまにしています。

そこで、今回こういう話が来たので、「もうボールがなくならないんだ。」と嬉しいと思いました。

ぼくは、柵が高くなったり公園が広がったりしたらボールもなくなったりしないし、その公園でいろいろな遊びもできて、にぎやかになると思います。にぎやかになると、みんなが笑顔になります。

公園は、みんなが集まる場所です。石川地区は大宝地区と比べて公園が少ないとぼくは感じます。

だから、公園を増やしてほしいのです。ぼくは10年後の河南町が豊かで公園があってお年寄りから小さな子どもまで心の底から河南町はいいなと思ってもらえるような河南町であってほしいので、どうかご検討よろしくお願いします。

【答弁者 まち創造部長】

井田議員のご質問にお答えします。

ご質問の大ヶ塚公園は、よちよち歩きの子供から、お年寄り、また体が不自由な方など、色んな人たちが散歩をされたり、休憩など安らいでいただく公園として造られています。

そのため、例えば野球とかサッカーなどは、小さな子どもやお年寄りにボールが当たると大変危険であることから、「河南町都市公園条例」で禁止とされております。

以上のことから、大ヶ塚公園ではボール遊びをされないように、お願いいたします。野球やサッカーをされる時は、規則に従って、学校の運動場をご利用いただければと考へます。

次に、大宝地区には8か所の公園があり、石川地区には、大ヶ塚公園と石川公園の2つの公園と、一須賀地区にあるちびっこ広場、合わせて3か所あります。

新しく公園を造るとなりますと、まず土地の購入、次に整備工事費、そして毎年維持管理の経費等、多額のお金が必要となります。

貴重な税金は、教育、福祉、安全安心など幅広く、よく考えて使う必要がありますことから、現在の厳しい経済情勢では、新たな公園づくりよりも、傷んだ道路の補修や川の改修工事などが優先されると考えます。

住みよいまちづくりに向けて、今後のご意見を尊重させていただいてまちづくりに励んでいきたいというふうに思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

2 質問者 河内小学校 6 年 おかだ あさと
岡田 朝斗 議員

質問事項

題 名 自転車用の歩道について
信号機の設置について
街灯の増設について

質問内容

河内小学校 6 年 2 組では、社会の学習でわたしたちの住んでいるさくら坂の「安全・安心なまちづくり」について考えました。

その中で多かった意見は次の三つです。まず一つ目は、中学校への通学路の事です。それは、「歩道が狭く、車の交通量の多い道路に自転車専用道路がないので、安心して通学できなくて困る。」ということでした。4 月からわたしたちは、自転車通学をしなくてはいけなくなるので不安に思っています。自転車用の歩道があればもっと安心して通学できるのに、また、さくら坂にもスクールバスを用意してもらってバス通学ができればもっともっと安心して通学できると思います。

二つ目は、さくら坂は、坂が多く曲がり角も多いのに信号がありません。今までたくさん事故があったと聞いています。いきなり車が飛び出してくると危険なので信号があればいいと思います。

三つ目は、夜遅くなると街灯も少ないので暗くて怖いです。街灯の数ももう少し増やしてほしいです。

以上がわたしたちが考えた問題点や要望ですが、安全・安心な町をつくるために実現させることは可能かどうか教えてください。

【答弁者 教育次長】

中学校の場合、スクールバスで通学できるのは、学校までの距離が原則 6 キロメートル以上であり、自転車通学は 2 キロメートル以上となっております。

小学校の時とは違い、登校・下校は、長い下り坂・上り坂があります。また、車の往来や飛び出しにも注意して通行しなければなりません。体力的にも精神的にもハードになりますが、人間として心身ともに急成長する中学生時代を健やかに過ごすためにも、頑張って自転車で通学してください。

また、街灯については電柱毎に設置しており、古くて暗い器具については、調査して明るい器具に交換していきます。

【答弁者 総務部長】

・中学校への通学路について

岡田議員のご質問のさくら坂入口から白木地区への道路は、白木バイパスという名称で大阪府道として大阪府が管理している道路で、歩行者や自転車の通行の安全性を高めるために、町では対策を大阪府に要望しています。

大阪府では、既に一部の区間で道路の溝に蓋を設ける工事を行っており、現在も

工事中であります。今年から更に、その溝蓋設置の工事区間を延ばして、歩行者や自転車が通行するところを色塗りするカラー舗装を設けることについて警察と話し合うことになっております。

・ **さくら坂地区内道路への信号機の設置について**

信号機は、警察が交差点の交通量や危険性、また、信号待ちしている車との対向ができるか、歩行者など信号待ちする人の待機場所の土地の確保ができていかなど、警察で様々な設置条件を検討して大阪府内全域で優先順位が付けられ設置されています。

このようなことから、富田林警察署の管内では、1年間で2~3箇所の設置と聞いています。町では、区長さんなど町住民の皆さんからの要望を受けて警察に信号設置を要望しており、これからも安全なまちづくりに努めていきます。

・ **防犯灯の設置について**

河南町では、地区で防犯灯を新設する場合に、設置する費用に補助金を出しています。地区の皆さんで、防犯灯を設置する場所を話し合ってください、この補助制度を大いに利用して、安全・安心なまちづくりに努めていただくように地域の区長さん方をお願いしています。

3 質問者 白木小学校5年 おかもと しゅんべい 岡本 俊平 議員

質問事項

題 名 待機児童が発生しない保育園の整備について

質問内容

ぼくたちは、少子化について考えてきました。

なぜ、少子化なのかというと、白木小学校の存続を願うからです。

この頃は、合併する学校が多くて、白木小学校も中村小学校と合併するというわけがあります。でも、白木小学校は消えてほしくないです。白木だけでなく、他の小学校も消えてほしくないです。少子化だからといって、小学校が消えるのはおかしいと思います。少子化を解決する方法を探ってください。

クラスの人のお母さんは保育園を造ってほしいという願いを持っています。1年間に入園できる人数はとても少ないらしく、保育園を大きくするか新しい保育園を造ることができそうにないのなら、入れる人数を増やしてほしいそうです。理由は、働きたいから入園させたいのに、仕事が決まった人から優先というのは納得がいかないのだそうです。

順番を待たなくても、すぐ入れる保育園をぜひ造ってください。

【答弁者 総合政策担当理事】

岡本議員から、小学校の統合についてのご質問をいただきました。

学校は、集団で学びながらみんなと一緒に生活することで、心豊かでたくましい人を育てるところです。

そのためには、クラスの児童数は20人以上で、1学年2クラスから3クラスが好ましいと考えています。

ところが、本町の小学校も、少子化の影響などから、児童数が少なくなってきました。このまま進みますと、体育や音楽また、理科の実験などの集団教育の良さが生かされにくくなってしまいます。また、クラスが減ると先生も少なくなってしまう、色々な影響が出てきます。

そこで、町では、現在5校ある小学校を段階的に2校にすることが必要と考えて、住民の皆さんと懇談を進めています。

それぞれの小学校が良いところを持ち寄って、共に新しい小学校を作っていくって欲しいと思っています。

【答弁者 健康福祉部長】

少子化問題に対応するために、河南町で子どもを産み、育てやすいように、町でも色々な事業を行っています。

まず、「かなんぴあ」という建物の2階の子育てセンターでは、子育てに悩んでおられるお父さんやお母さんのための教室や育児相談などを開催しています。

子どもの健康面では、妊娠から出産までのお母さんの健診に対する助成を行い、誕

生した赤ちゃんの訪問、赤ちゃんが大きくなるまでの定期健診などを行っています。

子どもが夜間に急病になったときのために、近くの市町村と共同で、夜間でも病院で受診できる体制をとるとともに、小学校へ行くまでの子どもやひとり親家庭の親や子どもが病院へ通院、入院したときの費用の助成をしています。

また、小学校を卒業するまでの子どもを育てているお父さんやお母さんに児童手当を支給しています。

町では、これらの事業を充実したいと考えています。

次に保育園ですが、質問された保育園というのは、法律上で保育所といわれています。保育所というのは、お父さんやお母さんが働いておられ、病気などで子どもの保育ができない場合に、子どもを預かる施設です。この保育所の運営も少子化問題に対応するための事業です。

河南町には、中央保育所という町立の保育所が1か所あります。中央保育所は、35年前に定員60人でスタートし、現在の定員は120人になっています。しかし、入所を希望される家庭がそれ以上に多く、今年の1月1日現在144人の子どもが入所しています。中央保育所は、スタートしてから幾度となく増築してきましたが、それでも現在は満員の状態で、さらに順番待ちの子ども、すなわち待機児童が14人います。順番待ちの子どもについては、一定の基準に基づいて優先順位を付けています。親が仕事をさがしている場合より、すでに仕事についている場合の方が子どもを保育できないということで優先しています。

現在の場所では、敷地も狭く、さらに増築することも難しい状況です。

そのため、町ではこれらの順番待ちの子どもが保育所に入れるようにするためには、どのような方法があるか、みんなで相談・検討しているところです。

4 質問者 石川小学校5年 きりいし あんな 桐石 安菜 議員

質問事項

題 名 監視カメラ、緊急ベル等安全対策について

質問内容

私は、防犯のことについて考えました。河南町には、青色防犯パトロールがあります。でも、青色防犯パトロールをしていない日に、不審者が出てきたら、とても危険だと思います。だから、お金がかかるかもしれないけれど、町の危険な場所や人通りの少ない場所に監視カメラを付けたらいいと思います。その映像が役場に入り、もし不審者などが映っていたら、警察に伝えていくという設備があると安心です。

また、一人暮らしのお年寄りが不審者やどろぼうにあったらどうすることもできないかも知れません。そこで、緊急事態が起こった時のために、それぞれの家にベルをつけ、押すと役場につながって助けがくる、という設備を付けるといいと思います。これらの方法で子どももお年寄りも安心して生活できると思います。

【答弁者 総務部長】

・監視カメラ、緊急ベル等安全対策について

ご質問の監視カメラの設置は、防犯対策としては有効と考えますが、普通に道路を通行している人々が映ってしまって、プライバシーなどの問題が生じます。

また、役場の事業の多くは、皆さんの税金により行っていますので、監視カメラの工事費用や管理費用などについても、どうしていくかを考えていかなければなりません。

監視カメラの設置については、このようなことを検討していきたいと考えています。

・一人暮らし老人に緊急ベルの設置を進めることについて

一人暮らし老人が急病などの緊急事態が発生した時に知らせる方法として、町では要望があれば緊急通報装置を無料で、一人でお暮らしのお年寄りのお家に設置しています。

河南町の場合は、この装置で通報が届くのは、1番目に在宅介護支援センター(菊水苑)という施設、2番目に一人暮らしのお年寄りが住まわれている地区の民生委員の家、3番目に近所の親戚の人などの順番で連絡できるようになっています。

不審者が侵入して危険な場合なども、この緊急通報装置を利用して知らせていただければと思います。

5 質問者 河内小学校5年 くりた あゆみ 栗田 肖未 議員

質問事項

題 名 エコ活動への取り組みについて

質問内容

最近、気になっている事は、ごみやたばこの吸いがら、犬のフンが公園や道路に多い事です。学校でもクリーンキャンペーンをしています。でも、数日でたくさんごみが増えて、せつかくきれいにしたのと思うことがあります。もっとごみを捨てないように心がけてもらいたいと思います。そのためにも分別のごみ箱を置くことで、ペットボトルやアルミ缶のようなリサイクルできるごみもあるので、ごみの減量にも役立つと思います。

また、集会所にはトレイや牛乳パックなどを分別できるリサイクル箱を置いてほしいです。たばこの吸いがらは自然環境に悪いです。犬のフンも飼い主がマナーを守ってほしいです。

10年後も今と同じ、みどり豊かで自然環境に恵まれた河南町であってほしいです。そのためには、みんなでエコ活動に取り組むまちづくりをしていくことが大切だと思います。

【答弁者 住民部長】

町においても、住民の皆さまとともに、自分たちの地域は自分たちの手できれいにしようと、毎年9月に町内一斉にクリーンキャンペーンを実施いたしております。また各地区でも、ボランティアが自主的に清掃活動をしていただいております。

ビン、カン、ペットボトル、プラスチック製の容器などもリサイクルしてもらうよう住民の皆さんに分別収集の協力をお願いしているところであります。

なお、集会所に分別できるリサイクル箱を設置してはとのことですが、各地区で収集箇所を毎月、日にちを決めて収集していますので、リサイクル箱を置くことについては、今後よく検討したいと思います。併せて、ごみ持ち帰り運動も引き続き進めてまいります。

たばこの吸殻の投げ捨てや犬のふんの放置は、喫煙者や飼い主のマナーが最も重要であります。町としては環境問題の大切さ、マナーの大切さなどを住民の皆さんに広報「かなん」等を活用しながら呼びかけていきたいと考えております。

エコ活動については、本町の金剛、葛城の山々の美しい緑豊かな自然の恵みの中で生まれ育ったこの素晴らしい自然を次世代に引き継いでいこうと、河南町役場では節電、節水などを通し「エコアクション21」という活動に取り組んでいます。さらに、今後は住民の皆さんと協働して取り組んでいこうとするものであります。議員も家庭でできるエコ活動に家族みんなで取り組んでください。

6 質問者 大宝小学校5年 くろき れい 黒木 嶺 議員

質問事項

題 名 学校や公園の環境整備について

質問内容

遊び場についてですが、学校や公園に木や花がたくさんあり、ビオトープのような施設や小動物とふれあえるような環境があればいいなと思います。遊具については、今あるブランコやジャングルジムは鉄でできているため季節により、熱かったり冷たすぎたりすることが多く困っています。また、鉄がさびてしまっているため、もっと安全な素材を使って安心して遊べるものが欲しいです。他にも、遊んでいて安全でケガの少なくなるような工夫はないのでしょうか。

大宝地区には、いくつもの公園がありますが、たくさんの友達と集まってサッカーや野球をするには狭く、ゴールやベースなどの設備がないため、サッカーや野球が思いっきりできるような広い場所があればいいなと思います。

他にも、大きなジャングルジムやトンネルのようなぐるぐるまわるすべり台、ロッククライミングのような遊具があったらいいなと思います。雨でも遊べるドームのような屋根のついた公園でテニスやバドミントンができれば、小さい子どもからお年寄りまで楽しめると思います。夢のような話ですが、実現可能でしょうか。

【答弁者 まち創造部長】

公園に、ビオトープのような施設や、小動物と触れ合える施設があれば素晴らしいと思います。議員のお住まいの大宝地区には、近くに風土記の丘といった広大な自然公園がございます。そういうところをご利用していただければありがたいかと考えています。

公園の遊具につきましては、確かに材料が金属で出来ている物が多いため、季節によって熱くなったり冷たくなったりします。

町では、安全でケガなく利用いただけるよう、各公園の遊具を、ゴム等で覆いのある遊具や、最新の安全基準に適合した遊具に交換する工事を毎年計画的に進めております。

また、大宝の公園にサッカーゴールや野球のベースの設備があれば、ということですが、先ほど井田議員のご質問にもお答えしたように、大宝の公園は球技をするために造られた公園ではありません。小さな子どもさんから、お年寄りまでが安らぐ公園として造られていますので、大宝の公園ではボール遊びはしないようお願いします。

近くの学校の運動場、あるいはさくら坂に大きな総合運動場というものがありますので規則に則ってそちらをご利用いただきたい。

次に、大きなジャングルジムやトンネルのようなすべり台、ロッククライミング

といった遊具の設置につきましては、こういった大型遊具につきましては、小さな子どもさんが利用された場合、大変危険であるということと、多額なお金が必要なため、設置は難しいと考えております。

次に、雨でも遊べる屋根のついた公園ということですが、雨の日はぶくぶくドームでバドミントンなど色んなスポーツを楽しんでいただくことができます。また、中学校の南にありますスポーツセンターでは2階で卓球などもできますので、そちらをご利用いただきたいと思います。

【答弁者 教育次長】

学校の遊具については、先生が日常的に点検・調査をして修理をしてくれていますが、もし、錆びていたりして危険だと思ったときは、すぐに先生に言ってもらえればありがたいです。

遊具は、安全でケガの起こらないように作られていますが、あまりに安全だけを考えすぎると利用者にとっては面白味がなくなり、子どもは遊ばないでしょう。逆に、面白みのある遊具はスリルがありすぎると危険となるのです。その辺が大変難しい問題です。

遊具については、引き続き、先生に定期的な点検・調査や利用方法の指導をしていただき、安全に遊べるように見守っていただくようお願いしたいと思います。

7 質問者 中村小学校 6 年 しば けいじ 芝 景司 議員

質問事項

題 名 道路の拡幅、街灯について
なかむら公園の柵、寛弘寺公園の遊具について
バスの本数について

質問内容

まず環境について言うと、登下校の時に雑草が多い。そのせいでぼくは道路からでている木の枝に目をぶつけ、痛かったのでぬいてほしいと思います。

道路交通安全から言うと、とにかく道が狭いです。いっつも自転車で走っていると横からぎりぎりぬかされることがあって、その時はひかれそうでこわいので道を広くしてほしいです。

次に信号が少ないです。前の道をわたろうとしても、なかなか車が止まってくれなくて困っています。そのうえ、わたっている時にひかれそうでこわいです。

その次に街灯の数が少ないです。夜歩いていたら暗くて足元が見えにくくなっていました。そのため石をふんでぐねって骨折したので、街灯の数を増やしてほしいです。

次に公園について考えました。

まず、なかむら公園は、遊具がたくさんあるけれども広場の所の柵が低いです。サッカーや野球をしている時によく道路や畑に落ちたりするので危ないと思います。そのためには、まわりの柵の高さを上げたらいいと思います。

他にある問題点では、バスの本数が少ない。バスと車の交差が危ないです。ぶつかりそうになるので道を広くしてほしいです。よろしくお願いします。

【答弁者 まち創造部長】

ただいまのご質問、たくさんの分野にわたっておりますので、道路と公園について、まずご答弁をわたくしの方からさせていただきます。

河南町の町道は、国道、府道、町道など色々あるのですが、河南町が管理している町道は本数で 348 路線、延長、長さにいたしますと 151 km あります。

151 km といえば、河南町から愛知県ぐらいの距離に相当します。

基本的には、道路の草刈は年 2 回実施しておりますが、全部の道路について十分にできている訳ではありません。

木の枝に目をぶつけられた場所は分かりませんが、そのような危険な状態があれば、学校の先生を通じて役場へ連絡いただければ、その所有者の方に切ってもらなどの、対応をさせていただきます。

次に道を広くしてほしいということですが、道路を広げるには、その隣接地の土地を購入する必要があります。さらに、家などの建物があれば引っ越しをしてもらった上で、取り壊すことも必要です。そのためには、多額な費用がかかるた

め、一度にたくさんの道路を広げることはできませんが、溝に蓋をするなどして、道路を広げる工事を少しずつ実施しております。

なかむら公園の広場の柵を高くしてほしいということですが、なかむら公園も野球などの球技をするために造られた公園ではありません。小さい子ども達からお年寄りまでが利用される公園として造られています。

そのため、河南町農村広場条例で危険な遊びは禁止されていますので、みんなが安心して楽しく利用できるよう、譲り合ってご利用をお願いします。

【答弁者 総務部長】

・ **信号機の設置について**

先程の岡田議員の質問にお答えしましたが、信号機は、警察が交差点の交通量や危険性、また、信号待ちしている車との対向ができるか、歩行者など信号待ちする人の待機場所の土地の確保ができていないかなど、警察で様々な設置条件を検討して大阪府内全域で優先順位が付けられ設置されています。

このようなことから、富田林警察署の管内では、1年間で2~3箇所の設置と聞いています。町では、区長さんなど町住民の皆さんからの要望を受けて警察に信号設置を要望しており、これからも安全なまちづくりに努めていきます。

・ **防犯灯の設置について**

河南町では、地区で防犯灯を新設する場合に、設置する費用に補助金を出しています。地区の皆さんで、防犯灯を設置する場所を話し合っただき、この補助制度を多いに利用して、安全・安心な町をつくるために努めていただくように地域の区長さん方をお願いしています。

・ **バスの本数について**

河南町の住民の皆様のご多くは、自家用車を利用されていることから、バスの利用が少ない状況にあります。

バス利用者が少ないなかで、どうすればバスの本数を増やせるかなど、バス会社などの意見も聞きながら、現在、検討しているところであります。

【答弁者 子育て健康課長】

今日の質問の中にはなかったのですが、あらかじめお聞きしておいた質問の中に寛弘寺公園について遊具が錆びて使えない状態になっているので新しくしてほしい。また、雑草がいっぱいでスベリ台を上ろうとしたらヘビがでてきたので草を刈ってほしいというご質問がありましたのでお答えいたします。

寛弘寺公園というのは、正式には、寛弘寺ちびっこ老人憩いの広場といいます。

このような広場は、河南町内に15か所あり、大宝やさくら坂にある公園などと少し違います。これらの公園は、町が遊具の設置から公園全体の維持管理まで行います。しかし、広場は、遊具やフェンスの設置、取替は、地元の要請に基づいて町が行いま

すが、日頃の維持管理は、地元のみなさんが行うことになっています。ただし、地元が遊具設備などを修繕した場合に、補助金を出すこともあります。

寛弘寺ちびっこ老人憩いの広場については、地元からの要請に基づいて、周囲のフェンスを新しくするとともに、傷んでいたジャングルジムやシーソーを撤去し、スベリ台を別の場所に移し、ベンチを新しく設置する工事を去年の11月に行いました。

なお、寛弘寺の場合も、草刈りなど広場の維持管理は、地元のみなさんをお願いしています。

8 質問者 大宝小学校6年 そのだ たくみ
園田 匠海 議員

質問事項
題 名 生涯学習について

質問内容

私たちは総合的な学習の時間などに障がいのある方との関わりを学習してきました。あすかの園に行って、働いている方と交流したりしました。でも、せっかく学校で学んでも普段生活している中で、そういった方とふれあう機会はあまりありません。

もっと河南町に住んでいる人たち同士が助け合えたらと思います。また、点字教室や手話教室などにも興味があり、あれば参加したいと思っています。他にも着物の着付け教室や生け花教室などもできれば気軽に参加したいと思っていますが、どこでしているか分からなかったり、場所が遠かったりします。もっと積極的に若い人たちが参加でき、色々な人たちとふれあう事のできる催しはないのですか。また、そういった催しができる施設を造り、よりたくさんの人たちが交流を持てるようにするという企画はありませんか。

【答弁者 健康福祉部長】

町内にある障がい者施設との交流はとても良いことだと思います。

施設の方がたも、みなさん方と会えるのを、心待ちにされると思います。

ここでお願いですが、施設を利用している障がい者の方々の、仕事や活動の支障にならないように、学校の先生や友だちとよく計画を立てて、施設に直接相談してください。

また、町が行うイベントにも、障がい者の施設の人たちも参加していますので、そのような機会に交流してもらえればと思います。

教室関係ですが、町では手話教室を毎年開いています。8月から12月にかけて、週1回のペースで行っていますので、毎月発行の広報「かなん」に、開催場所・時間などをお知らせしています。

また、夏休みの1日ですが、手話教室を手話サークルの人たちが行います。これも、広報「かなん」で案内しています。

なお、点字等の教室はありませんが、点字サークルの人たちに事前にお問い合わせ、学校等へ来ていただけることになっています。

【答弁者 教育次長】

教育委員会では、土曜日に主として小学生に対して子ども教室を実施しています。内容につきましては、第1土曜日に中央公民館でパン教室、第2土曜日にぶくぶくドームのぶくホールでスポーツ教室、第3土曜日に中央公民館で生き物教室を開催しています。毎年4月の広報「かなん」で募集しますので参加してください。

また、毎年11月は文化協会主催によります文化祭典をぶくぶくドームで行って

います。各クラブの会員さんの舞台発表や作品の展示をしますので見学にきてください。

9 質問者 中村小学校5年 もりぐち よしき
森口 嘉軌 議員

質問事項

題 名 公園の整備について
通学路について
信号機について

質問内容

ぼくは、中村小学校5年の森口 嘉軌です。今からよりよい河南町にするために質問するので聞いてください。

初めに公園のことについて質問します。まず神山の空き地に高いフェンスをつけて公園を造ってほしいです。他にも、なかむら公園のトイレをきれいにしてほしい。なかむら公園には、ごみがちらかっているから注意看板を立ててください。

次は、町のことについて質問します。まず、馬谷口の信号がたまに日に反射して見えないから、つつみたいなものをつけてください。

他にも、神山のこた坂のおり口の所に押しボタン信号をつけてほしいです。理由は、事故が何回かおきているからです。

他にも、交通量が多い所にグリーンゾーンを作ってください。

それと、川はそのままグレーチングをつけてほしいです。理由は、川におちないようにです。

あともう一つは、寛弘寺のバス停の近くにある道に信号をつけてほしいです。よろしくお願いします。

【答弁者 施設整備課長】

ただいまの森口議員のご質問、たくさんの項目がございます。まずわたくしの方から公園と水路のグレーチングについての答えをさせていただきます。

神山の空き地に高いフェンスの公園を造ってほしいということですが、野球とかサッカーをするためには、相当な広さの土地が必要となります。そのためには、まず、土地所有者から土地を借りるか、または購入しなければなりません。そして、工事となりますが、多額の費用がかかりますので、残念ながら、今はその計画はありません。

次に、なかむら公園のトイレをきれいにしてほしいということですが、現在週2回の清掃を行っていますので、みなさんもきれいに利用するようにお願いします。

なかむら公園のごみの注意看板設置のことですが、毎週月曜日と金曜日にごみの回収を行っています。利用者が多くごみ籠からごみがあふれて散らかっていることもあるようですので、ごみの持ち帰りの看板を設置するようにしたいと思います。

次に、川に落ちないようにグレーチングを設置してほしいということですが、危

険な箇所にはガードパイプの設置を行っています。また、町道沿いの水路につきましては、蓋をする工事を行っているところもあります。しかし、水路には上流からごみや落ち葉、枯れ枝などが流れてきて詰まることもありますので、掃除や点検をするためには、蓋をしない方が管理しやすいということになりますので、このような場所では、気をつけて、落ちないように注意するようにしてください。

【答弁者 総務防災課長】

・信号機について

馬谷口の信号機は、日よけ用のつばがついており、太陽の反射などがあっても信号ランプが見られるように、つばの長さについても、警察により現場調査や検討が行われ、交通事故が起らないように一番適した長さのつばが取り付けられていると思われます。

・寛弘寺のバス停付近に信号機の設置について

先にお答えさせていただきましたが、信号機は、警察が交差点の交通量や危険性、また、信号待ちしている車との対向ができるか、歩行者など信号待ちする人の待機場所の土地の確保ができていかなど、警察で様々な設置条件を検討して大阪府内全域で優先順位が付けられ設置されています。

このようなことから、富田林警察署の管内では、1年間で2~3箇所程度しか設置されていないと聞いています。町では、区長さんなど町住民の皆さんからの要望を受けて警察に信号機設置を要望しており、これからも安全なまちづくりに努めていきます。

【答弁者 教育次長】

グリーンベルトは、交通量や子どもの通学状況を踏まえて警察と協議して、設置するものであります。とくに、学校周辺近くで、歩道がなく、大変危険と思われる場合は、現場の状況を確認の上、設置するかどうかを決めることとしています。

10 質問者 中村小学校 6年 たかはし みのり
高橋 実里 議員

質問事項

題 名 環境・公園・まちづくりについて

質問内容

環境について

町や川などをきれいにしてほしいです。なぜなら、小さい時は、川がきれいで遊べていたけれど、最近では川の中に針金やガラスの破片などが落ちていてあぶなくて遊べないからです。町をきれいにするには、ごみ箱をあちこちに置くといいと思います。

それと古い車をエコカーにすると環境にいいのでエコカーに替えてください。地球温暖化防止のため風力発電と水力発電の施設を造ってほしいです。

公園について

公園がない所に公園を造ってほしいです。それと、誘拐されそうな公園に管理人を置いてほしいです。

まちづくりについて

歩道がない所に歩道をつけてほしいです。

仕事がない人のために何かしてあげてほしいです。

お金をいらぬものに使わず、教育のためにお金を使ってほしいです。

気軽に書ける意見箱を作ってほしいです。

あと、大きな地震が来た時のために町全体で大きな訓練をしてほしいです。

あと、噂で聞いたことですが、ごみを捨てる時に、トレイとプラスチックなど分けて捨てているけど、実際、最終的には、いっしょに捨てていると聞いたことがあります。どうなっているのでしょうか？

【答弁者 住民部長】

ごみは、自分で持ち帰り処理することが原則でありますので、今後とも住民の皆様にごみの持ち帰り運動を徹底していきたいと考えております。ごみ箱の設置については、各地区と協議をしなければならないと考えます。

役場でも古い車を新車に変更する際には、エコカー（低公害車）の購入やリースなどをしており、現在公用車で1台導入しております。今後も引き続き買い替えの場合はエコカーの導入を考えております。

地球温暖化防止のための風力、水力発電の施設については、立地条件などを考慮すると非常に難しいと考えます。

カン、ペットボトルなど分別して捨てているのに、最後は一緒に捨てられるという質問ですが、町内にありますリサイクルセンターでカン、ペットボトル等のごみや混じりものをもって、分けております。決して一緒に処理していることはありません。

せん。混じりものごみが多くなると引き取りを拒否されることもあります。今後ともごみの分別についてご協力をお願いしたいと考えております。

【答弁者 施設整備課長】

公園が近くにあったり、公園がいっぱいあれば大変便利だと思います。

しかし、公園を1つ造るのには土地の確保から、工事まで大変なお金がかかります。また公園には、花や木々も必要となります。

木を植えた後、毎年手入れや消毒、また、電気代、水道代などの費用も必要となってきます。

今は、学校校舎の地震対策や、福祉対策などを優先していますので、公園をいっぱい造る状況にはありません。

防犯上問題のある公園につきましては、樹木の枝を切るなどして、外からの見通しを良くするなど、子ども達の安全確保に努めております。

次に、公園に管理人を置いてほしいということですが、先ほど説明しましたが、管理人を置くと大変なお金がかかります。

常日頃から、安全対策について、家族や学校、友達としっかり話しあって、安全対策に心がけてください。

【答弁者 総務部長】

仕事のない人のために、臨時アルバイト職員を募集する予定です。

次に、お金の使い道についてですが、役場が使うお金は、住民の皆さんからの貴重な税金なので、無駄のないように大切に使う必要があります。教育をはじめ、いろんな施設のほか、福祉や健康などにも使っていく必要があります。

また、意見箱については、作ってありませんが、各担当課において、相談していただければお答えさせていただいていますので、いつでも気軽に相談してください。最近では、パソコンを使ってメールで意見・問い合わせもできます。手紙を郵送してもらっても良いと思います。

次に、地震が起きたときの訓練ですが、今年の11月16日にさくら坂の総合運動場で防災訓練を実施しました。今後も、定期的に訓練いたしますので、是非参加してください。

11 質問者 白木小学校 6 年 うへだ ひろよ 上田 啓世 議員

質問事項

題 名 24 時間対応の病院整備について

質問内容

私の質問は、病院についてです。この質問をする理由は、河南町には 24 時間見てくれる病院がないため、小さな子どもやお年寄りの人が、夜にしんどくなって病院ですぐ診てもらえないため、死んでしまうかもしれません。そのために悲しむ人を無くすために、この質問を考えました。

最近では、病院のたらい回しがニュースでよく言われていますが、そのようにたらい回しにされている人を、河南町の病院で受け入れることが出来れば、河南町の評判もよくなると思います。そうすると、河南町に引っ越してくる人も増えて、税金も増え、福祉に使えるお金も増えると思います。だから河南町に 24 時間診てもらえる病院を造ってほしいと思います。

【答弁者 総合政策担当理事】

上田議員のご質問にお答えします。

私たちも、住民の皆さんが、健康で、安心して毎日を幸せに暮らしていただけることが大切であると思っています。

ところが、24 時間体制の総合病院を造るとなると、たくさんのお金や医師、看護師等が必要となります。これは 1 つの町だけでは、大変難しいことです。

そのため大阪府では、保健医療計画というものを作って、例えば大阪府全体から受け入れるための大きな病院や、幾つかの市町村の範囲毎に必要な救急病院などを適正に建てることとしています。

河南町は、少し難しいことばですが、南河内医療圏に含まれていまして、それぞれの病院が協力し合って、病気の方の受け入れをしています。

また、本町には、住民の方が急病となった場合には、すぐに病院へ運べるように救急車を 2 台用意し、病院に着くまでの間も、救急救命処置ができる救急救命士が 6 人います。

救急隊は、24 時間体制で、皆さんの命を守るため、また、迅速に患者さんを一刻も早く病院に搬送できるように頑張っています。

これからも、安心して住んでいただける町にしていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

12 質問者 河内小学校5年 たかへい けいのすけ
高幣 佳之介 議員

質問事項

題名 公園に時計を、総合運動場の開放、横断歩道の設置、自然環境の保全について

質問内容

ぼくは遊びに行く時は、時計を持って行きません。遊びに夢中になっていると時間を忘れてしまいます。また、別の友だちと遊ぶ約束をしても、時間が分からないときがあります。そのとき、「なんで公園には時計がないんやろう。あったら便利やのに。」と思いました。きっと、ぼくがそういうふうに思うのだから、周りの人たちも思っていると思います。

二つ目は、あんなに大きな総合運動場があるのに、どうしてぼくらは使えないのですか？

さくら坂の公園では、野球やサッカーなどといった、大勢の人数でできる公園がありません。週に1回でも開放してくれたらうれしいです。

三つ目は、さくら坂南とさくら坂2丁目の間の道に横断歩道をつけてほしいです。3学期になって、ぼくのクラスに森永くんという子が転校してきました。森永くんの家は、さくら坂南で、車は少ないけど、遊びに行く時に危ないので横断歩道をつけてほしいと思います。実現するでしょうか。よろしくお願いします。

最後に、お願いします。河南町の自然はすばらしいと思います。お母さんの友だちが遊びに来た時、星がすごくきれいと言っていました。その人は岸和田に住んでいますが、同じ大阪でもこんなに違うんだと言っていました。星がきれいというのは空気がすんでいるということだと思います。空気がすんでいるということは自然がきれいということなので、これからもこの自然をこわさないように見守ってほしいと思います。

【答弁者 施設整備課長】

公園に時計が設置されておれば、確かに便利であると思いますが、さくら坂地区の公園は、半径250メートルの範囲の方に利用いただくよう配置されており、家に帰って確認することができる距離かと考えております。

工事費や維持管理面から考えますと、現時点では設置の予定をしておりませんので、ご協力をお願いいたします。

【答弁者 教育次長】

総合運動場は、野球やサッカーあるいは子ども会などのチーム、団体で申し込み、許可を受けて使用することができます。

一般開放につきましては、たとえば親子でキャッチボールをする日を設けるなど年に何回か開放することができないか検討します。

【答弁者 総務防災課長】

・横断歩道の設置について

(さくら坂南とさくら坂地区の間の道に横断歩道を)

さくら坂南とさくら坂地区の横断歩道については、地区の皆さんなどからも設置の要望があり、既に町から警察に要望してしまして、現在、設置工事に向けて警察で準備してもらっていると聞いています。

【答弁者 副町長】

河南町の自然についてであります。河南町は区域全体の約50%が山林で、農地が約20%となっており、多くの自然やみどりに囲まれた非常に環境の良い地域です。

このすばらしい環境をいつまでも保全し残していくことが大切であり、そのためには、山林や国定公園、また農地等の自然やみどりを守るいろいろな法律が定められています。

また、最近では昔の里山を取り戻そうということで、ボランティアの方々が山を整備したり、くぬぎやコナラ、やまざくらなどの植樹にも取り組んでいます。

これからも、法律による自然破壊への監視や地域住民の方々と一緒に自然保護やみどりの保全に取り組んでいきたいと考えています。

13 質問者 河内小学校6年 たけだ るみ 武田 瑠美 議員

質問事項

題名 通学路における公衆電話の増設について
新しい店舗計画について

質問内容

私は、4月から河南中学校に行きます。自転車通学をしようと思っています。一度、河南中学校までの通学路を通りましたが、気になることがあります。

それは、通学路を歩いている人が少ないことです。河南町は中学校が1つしかなく校区は広いと思うので、通学の時間が長い人が多いと思います。私は、バスケットボールクラブに入りたいです。きっと、夕方の練習が終わるころには、暗いことが多いと思います。帰り道に人が少ないので、万が一不審な人と出会ったときに助けてくれる人がいるか心配で、安全に通学できるようにしたいです。

そこで、人の少ない帰り道に公衆電話があると便利だと思います。勉強に関係のない携帯電話を学校に持っていくことは、10年後もいけないと思います。最近、あまり公衆電話を見かけないのですが、公衆電話を増やす計画はありますか。また、危ない目にあつたときに、緊急に入れる店もあつたら便利です。これからの数年間で店などは増えていきそうですか。教えてください。よろしくをお願いします。

【答弁者 教育次長】

公衆電話の設置はNTTが行ないますが、このところの急激な携帯電話の普及により、新たに設置することは難しい状況になっています。

初めて行く中学校への期待と不安は誰しものが抱くものです。特に議員の登下校時への心配は、大変よくわかります。

地域では皆さんの安全を守るため、青色防犯パトロールカーでの巡回や「こども110番」の指定などを行っていただいています。不審者が出たり、危ない目にあつた時、こうした人たちに助けを求めてください。

また、小学校でお渡しした防犯ベルは、まだまだ使えますから常に身に付けておくことも大切です。

中学校では、登下校時の安全について、色々指導があると思いますが、できるだけ複数の集団で登下校をするとともに、不審者への対応策を学習し、安全確保に努めてください。

【答弁者 まち創造部長】

新しい店舗計画についてですが、今後、河南町の人口が大幅に増えたり、大きな道路ができるなどして交通量が増加するとお店が増えていくことも考えられますが、地域によっては、建築できる建物の種類が決まっています。例えば、この地域ではお店を建てることはできますが、ある地域では、住宅しか建てられませんというようになっています。

このように、住民の皆さんがそこで住みやすいように住宅環境を守ったり、農地を守ったりするためのいろんな法律の規制があって、何処にでもお店を建てる事が出来るわけではありません。また、お店で買う人がいないと儲からないので、お店はできません。

このようなことから、これから数年間でお店が増えるということはなかなか難しいと思われませんが、町が元気づき、住民の皆さんにとって、もっと便利になるよう、住みやすいまちづくりを考えていきます。

14 質問者 白木小学校 6年 田中 大暉 議員

質問事項

題 名 ぷくぷくドームや総合グラウンドの無料開放について

質問内容

僕は、ぷくぷくドームや総合運動場の無料化について、質問したいと思います。なぜ、この質問をするかというと、今は、ぷくぷくドームに放課後に遊びに行くと、50円かかります。有料なので、お金のない人は集まって体育館でドッジボールなどをして遊べないことがあるからです。もし、無料だと、毎日友だちと集まって、楽しくみんなで遊べます。

ぷくぷくドームは、すごく安全なので遊びやすいのですが、お金がかかってしまうので、遊びに行くことができない子も実際にいるのです。だから、ぷくぷくドームを無料にして、子ども達だけでなく、大人や河南町に住む全ての人が仲良くなれるような場所にしてください。町長さん、よろしくお願いします。

【答弁者 教育次長】

田中議員のいうとおり、すべての施設を無料化してすべての人が仲良く使えるようにできたら理想的だと思います。多額の収入があれば可能ですが、残念ながら河南町の収入は使うお金と比べてもそんなに多くはありません。むしろ使うお金より少ないくらいです。

また、少し難しい言葉ですが受益者負担という言葉があります。要するに施設を使う人にその施設の管理などに見合ったお金を負担してもらうという考え方です。

そのようなことから、体育館もかかったお金の一部を使う人に負担してもらうこととしています。

また、体育協会が行う体協スポーツ広場という事業があり、12月と3月を除く月の第4土曜日の午前中にぷくぷくドームを無料で開放しています。小学生と保護者の方も参加できますので、大いにこの事業をご利用してください。

15 質問者 中村小学校5年 たなか はるな 田中 春菜 議員

質問事項

題 名 ごみのマナーについて
中村小学校の耐震について

質問内容

私は中村小学校5年 田中 春菜です。今日はより良い河南町にするために考えてきたので聞いてください。

初めは環境の事です。

まずは、ごみのマナーについてです。

道をみるとよくたばこがすてられています。時々まだ火がついたままのたばこが落ちています。とっても危ないです。なので道に喫煙場を造れば良いと思いますが、少し無理があります。ですので喫煙者に無料で携帯灰皿を配布すれば良いと思います。私はそれだけでも道がきれいになると思います。

他にもごみ捨て場に捨ててあるごみをカラスがつついたりしてごみを広げると、通行人のじゃまになります。なのでひと工夫して、燃えるごみなどの種類を分けた箱を作れば良いと思います。

そして最後に、私たちの中村小学校のことについてです。中村小学校は、耐震の問題で、本館が使えません。本館が使えるように耐震の工事をしてほしいと思います。

学校の周りや通学路の清掃作業、クリーン作戦など私たちも学校の活動として美化に努めますのでよろしくお願いします。

【答弁者 生活環境課長】

現在、たばこの禁煙対策が進められておりますが、まだまだ喫煙者が多い状況であります。携帯灰皿の無料配布をしてはとの提言ですが、喫煙者のマナーの問題であり、喫煙者自らがマナーの一環として用意してもらうものと考えます。

ごみ袋をカラスなどがつついて、ごみを広げる問題については、ネットなどをかけるなどの散乱防止対策をとっていただくようお願いしています。また、個人の家から直接出す場合もポリペールに入れてもらうなど防止対策を取っていただいています。

収集箱(ごみ置場)の設置については、各地区とよく協議していきたいと考えております。

合わせて、ごみの持ち帰り運動を推進してまいります。

【答弁者 教育長】

中村小学校の本館は、耐震診断をいたしますと、補強工事をする必要があるという結果がでましたが、今までやってきた方法の耐震工事では、できないことが分かりました。

そこで、昨年度、急きょ、耐震工事が終わっている特別教室などに移っていただきました。

最近、耐震工事の方法については技術が進み、いろいろな特殊な方法も考え出されており、現在、どのような方法で行なえば耐震の工事がよりうまく行くかを専門の業者をお願いして調査しているところです。良い方法が決まり次第、耐震の工事をしていきたいと考えております。

大変、不安な思いをさせていますが、もうしばらく待つていただくようお願いいたします。

16 質問者 白木小学校 5 年 たのうえ せりな
田上 芹梨奈 議員

質問事項

題 名 高齢者が安心して暮らせる対策について
高齢者増加への対応について

質問内容

河南町には高齢者がたくさんおられます。過去 5 年間で 500 人以上増えているという統計からもわかります。

最近、こんなニュースをみました。万引きをする高齢者が増えているのです。ニュースによると万引きの 20%以上が高齢者だそうです。その理由は、現在の生活に困っているからではありません。将来が不安だから、今はお金を使いたくないという思いで万引きをするのです。

河南町に暮らす人々は「すべての人が安心して暮らせる福祉の町」を願っています。

高齢者が安心して暮らせるように、河南町ではどんなことをしていますか？

また、これからも高齢者が増えると思われませんが、そのための対策は大丈夫ですか？

【答弁者 健康福祉部長】

高齢者が安心して暮らせる対策についてですが、

高齢者が暮らしやすい町をつくるためには、安全に移動ができたり、元気に社会の活動に参加できるようにする必要があります。

そのためには、町の建物や道路、多くの人を利用する施設のバリアフリー化をするなど、誰にもやさしいまちづくりを進めています。

また、緊急時・災害時には、各地区の民生委員などで「災害時ひとりも見逃さない運動」を行っており、高齢者の手助けのための準備をいただいています。

また、高齢者増加への対応についてですが、

平成 20 年の 12 月末での町の高齢者率は 23.48%です。その中でもひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦で暮らしている人が増えています。

高齢者が、住み慣れた町で、元気に生活ができるように、高齢者についてのどんな相談でもできる窓口として、かなんぴあ内の「地域包括支援センター」で、高齢者の介護と福祉サービスについていろいろな相談を受けています。

また、身体が不自由になってくると、一人で動けなくなったり、今までのように家で暮らしにくくなることがあります。そのような時に、介護保険のサービスを利用して、ヘルパーさんにお手伝いをしてもらって、家で暮らすことができる支援をしていますし、トイレやお風呂に手すりを付けたり、玄関や廊下の段差をなくす工事の（改修）費用の負担も行っています。

また、家で暮らすことが難しい高齢者には、施設（介護老人福祉施設）に入って介護を受けることもできます。

そして、町役場や医師、介護の仕事をする人が話し合いをしながら、一人ひとりにあった高齢者の方々の生活を応援しています。

17 質問者 石川小学校5年 ^{つぼした} 坪下 ^{りょうすけ} 亮介 議員

質問事項

題 名 観光地としての宣伝について

質問内容

ぼくの地域では、9月に「はっさく」というお祭りがあります。ぼくは、このお祭りを毎年楽しみにしています。もっとたくさんの方がお祭りにくれば、もっと盛り上がるのと思います。そこで、手品やサーカスなどの出し物をよんだり、お年寄りも参加できる踊りを企画してはどうか、と考えます。

また、河南町をたくさんの人に知ってもらい、来てもらうために「大念寺」や「顕証寺」などの名所を観光地として案内し、スタンプラリーをするといいと思います。そのスタンプを集めたら、河南町の野菜や特産物をプレゼントすれば、人が集まりにぎやかになるのではないのでしょうか。そうすることで、河南町の宣伝にもなると思います。

ぼくは、河南町にたくさん人が来てくれるといいなあ、と思っています。

【答弁者 まちづくり推進課長】

「はっさく」は、地元の人だけでなく、近隣からも多くの方が来られ、地域の伝統行事として毎年大いに賑わいをみせています。

議員ご提案のように、サーカスなどがあればもっと多くの方が来られるでしょうが、あの場所は住宅街のため、お住まいされている方はどう思われるでしょうか。

次に、河南町をたくさんの人に知ってもらう、観光地としての宣伝についてですが、河南町を含む近隣の9つの市町村で「華やいで大阪南河内観光キャンペーン協議会」という会をつくっています。

その会で、去年は、歴史講座として「一須賀神社」や「大念寺」、「顕証寺」を巡るツアーを実施し、町外からも多くの方が参加してくれました。

また、毎年春には西行法師ゆかりの弘川寺でさくら祭りを開催したり、道の駅かなんでも定期的にイベントなどを実施し、河南町の特産物をPRするなどして、河南町以外の人に河南町を知ってもらい、たくさんの人に河南町へ来てもらえるよう取り組んでいます。

今後も議員の提案を参考にさせていただくとともに、大阪府の橋下知事が提案されている、大阪の魅力を広くPRする「大阪ミュージアム構想」も念頭におきながら、検討していきたいと考えています。

18 質問者 大宝小学校6年 ながお あゆみ
長尾 歩実 議員

質問事項

題名 町民運動会の開催、スポーツ施設の充実、文化財や伝統行事の保存及び啓発について

質問内容

スポーツについてですが、子どもからお年寄りまでが参加し、楽しい運動ができる町民運動会が毎年あればいいと思います。

また、今、私たちは、サッカー、野球、バスケットボール、テニスなどいろいろなスポーツをしていますが、大人になっても好きなスポーツを身近なところでできたらいいなと思っています。

今後、河南町に住む人たちが、スポーツに親しみ、健康的な生活ができるよう、多くの人の考えを生かして、グラウンドや体育館などスポーツ施設を充実して行ってほしいと思います。

例えば、今現在、ぷくぷくドームという立派な体育館がありますが、バトンの練習や競技ができるフロアをつくったり、町民プールを幼い子からお年寄りまでが楽しめる施設にしていったりすることはどうでしょうか。

文化についてですが、河南町には、近つ飛鳥・金山古墳・弘川寺・大ヶ塚の町並みなど歴史的な史跡がたくさん残されています。また、人々が楽しみにしているだんじり祭りや八朔祭りなど、古くから伝わる行事もあります。これらを私たちは、10年後、50年後、さらには100年後までにも、共に協力して、大切に残していきたいと考えています。

そのためにも、今後ますます、弘川寺祭りのように、多くの人々が文化財にふれる機会をつくっていければよいのではと思いますが、どうでしょうか。

【答弁者 教育次長】

以前は、町民体育祭を、2年に1回行っていましたが、町の行事を見直した時に休止いたしました。やはり、町民体育祭は必要だ、運営に協力するので再開して欲しいという声が多くなれば再開することもあります。

町のスポーツ施設につきましては、ほぼ整備が終わりましたので、今ある施設を使って工夫して皆さんが喜んで使っていただけるように努力していきたいと考えています。

次に文化財についてですが、河南町には近つ飛鳥風土記の丘や金山古墳をはじめ、たくさんの史跡があります。これらは町民だけではなく国民みんなの貴重な財産でもあります。また、これからは文化財を残すだけでなく活用することも求められています。町としてもイベントなどで多くの方々に知っていただく行事を行っていきたく考えています。

議員におかれましても、身近にある史跡について勉強して大切さをみんなに広めていただくようお願いいたします。

19 質問者 大宝小学校5年 まきの 牧野 ありさ 有紗 議員

質問事項

題名 少人数学習の充実、空調設備の設置、給食のバイキングについて

質問内容

今、私たちは算数を少人数の体制で学習しています。少人数では勉強の内容も分かりやすいし、はやく理解できるので大変いいことだと思います。ほかの教科でも実施していくことはできないでしょうか。そのために先生の数を増やしたりして楽しく授業ができたらいいなと思います。どのようにお考えでしょうか。

施設面では、夏場など温暖化により教室がとても暑く、授業ができません。冬場もいまのストーブでは、なかなか温もらなかったり空気が汚くなったりしているように思います。そのため、扇風機やエアコンがあるとずっと授業に集中できると思います。快適な空調設備を設置していただける計画はありませんか。

また、給食についてですが、クラスの友達の中にアレルギーがあり、給食を残してしまう友達がいるのですが、バイキング形式をとれば残さず全員が食べられ楽しい給食になると思います。いかがでしょうか。

【答弁者 教育長】

少人数学習についてですが、算数が分かりやすいという声を聞くことができ嬉しく思います。

それぞれの学校でも、先生たちがいろいろ工夫したり、協力して、少人数学習を実施しています。

しかしながら、総ての教科において少人数学習が良いのかということそうではありません。社会科のグループ学習や理科の実験、国語の読みとりでは、意見を交換したり、結果を発表しあってこそ授業が楽しくなり、理解も深まります。そのためには、一定の数が必要です。また、体育のバスケットボールやサッカーといった球技は、少人数ではチームも作れませんし、音楽の合唱や器楽合奏も少人数ではできません。

したがって、教科や学習の仕方に応じて、今後も少人数学習を取り入れていって欲しいと考えています。

次に、エアコンの設置についてお答えします。

暑い夏、寒い冬にエアコンがあると確かに快適に過ごすことができます。しかし、全校にエアコンを設置すると、大変な経費が必要となりますし、その後の電気代もかさみます。また、環境保全の立場からは、省エネに反しますし、人間の体は自然の環境に適応してこそ、強くたくましくなるものであります。府内の学校で、特別な理由からエアコンのついている学校はありますが、河南町ではコンピューター教室といったどうしても必要な、限られた教室にのみ設置しているところです。

次に、アレルギーの友達のために、バイキング給食を考えては、との提案にお答えします。

アレルギー体質の人たちは、その病状は様々であり、普通給食であれ、バイキング

給食であれ、別に献立や量も考えた、それぞれにあった給食を用意する必要があります。現在の河南町学校給食センターの設備や調理人の数では、そうした余裕がなく、今すぐできないのが実状です。

友達のことを思うやさしさに応えられないのが残念ですが、ご理解いただきたいと思います。

20 質問者 石川小学校 6 年 よしおか あんな
吉岡 杏奈 議員

質問事項
題 名 道路の整備について

質問内容

私は 10 年後の河南町について考えました。

この前、近所の家が火事になりました。そこで、消防車が来ました。すると、ふつうの車が消防車のあいだに、はさまれました。

その車に乗っていた人が、困った顔をしていました。

私は、道幅が広がったら、消火活動もスムーズに行くと思うし、困る人が少なくて、すむのにと思いました。

私は、10 年後の河南町が、困る人も少なくて、みんなが楽しく暮らせるような河南町になってほしいと思います。そのために、まず河南町の道幅が、広くなるといいと思います。広くすると、前の話のような困る人もいなくなるし、消防車が楽に道を走れるからです。

消防車が楽に道を走ることができると、消火活動にすぐとりかかることができま
す。ということは、火事で命をおとす人が少なくなるという事だと思えます。

救急車やパトカーも道が広くなると、すぐに、困っている人の所へ行くことができます。しかし、道が狭いままだと今までの様に消火に影響を受けます。そのほかにも救急車もパトカーも同じような事がおきてしまいます。もし万が一、道に車が
停まっていた場合の事を考えると、消防車が火事のおきているところにすぐ行く事
ができなくなって、そして家が燃えてしまって住んでいる人が亡くなってしまうか
もしれない。そういったことを考えるとやっぱり道は広い方がいいと私は思います。
だから 10 年後の河南町は道幅が広い河南町であってほしいです。

【答弁者 まち創造部長】

河南町の全ての道路が、緊急自動車が通行でき、しかも、すれ違いができる道路幅
があれば、困る人が少なくなります。

しかし、家がたくさんあるところで道路を広げるとなれば、先ほどの他の議員の答
弁と重なりますが、その隣接地の土地を購入する必要があります。さらに、家などの
建物があれば引っ越しをしてもらった上で、取り壊すことも必要です。そのためには、
多額な費用がかかるため、一度にたくさんの道路を広げることはできませんが、溝に
蓋をするなどして、道路を広げる工事を少しずつ実施しております。

従って、消防車が入れないような場所には、道路に消火栓が設置してあり、また、
防火水槽なども設置して火事に備えています。

緊急自動車は、一般車両よりも優先して走行することが認められていますので、狭
い道路などでは、消防自動車などの通行の支障にならないように、迷惑駐車をしない
など、心づかいしていただき、また、速やかに道路を譲っていただけるよう、皆さん
一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

【町長閉会あいさつ】

お約束の時間が 17 時 30 分ということでしたが、もう 15 分ほど超過をいたしました。できるだけ早くご挨拶を申し上げたいと思います。

本日は、本当にお疲れ様でございました。普段子ども達が途中で休憩をはさんだといえ、2 時間ずっと席でまじめに座ったことは授業中であんまりなからうかと思えます。

真剣に質問をして、本当に議員顔負けの態度の質問もありましたし、自分の席に帰ってから私どものお答えすることをしっかりメモをしてきていました。

また、約束通り、席に上がる時にはきちっと礼をして、席に戻るときもきちっと礼をしてくれました。本当に肅々と予定どおり、子ども議会を終えることができました。

本当に長い間、多分今まで準備して、あがっただろうし、練習もしたでしょうし、本当に皆さんにとってもいい経験になったと思います。

私ども職員にとりまして真剣に答えようと、随分答えに何時間もかかって会議をしました。

議員として答えなきゃだめだと、小学 6 年生に対して答えるようなそういうやり方はやめておこうと、でも言葉もあまり難しい言葉を使うとまた理解してもらえないんじゃないかと、随分考えましたけど、やっぱり難しい言葉をだして配慮に欠けたところがあったかもしれません。それはお許しをいただきたいと思います。

私も色々と思うところがありますけども、皆さんのご意見やご要望がいっぱいあり大変参考になりました。

最初のご挨拶で総合計画の参考にさせていただくとお約束申し上げましたけど、全くそのとおりに進めをさせていただけたと思います。

皆さんのご質問の中で皆さんお一人お一人の内容を取り上げさせていただいたらいいんですけど、時間も無いので 1 つだけ話します。2 月 1 日の産経新聞で大阪芸術大学の先生の記事が載っています。その記事を読ませていただきますと、「緑豊かな河南町の丘陵地にある大阪芸術大学キャンパス...」と書いています。これは、日本中に対して河南町は緑豊かで丘陵地にあるという風に言っているんです。

皆さんの意見の中にもありました。「緑豊か」「星が綺麗」少なくとも貴方が 10 年、あるいは 20 年たって、その時の河南町も、まだまだこの記事のとおり緑豊かで星が見える河南町として守っていききたい。

一つ言わせていただければそういう思いがいたします。いっぱいありますけれども、この辺でご挨拶にかえたいと思います。

本日の子ども議会のためにご指導いただきました先生方、保護者の皆さん、本当にありがとうございました。

今日は新聞各紙、普段ご覧になっている 5 誌が全て取材にきてくれました。明日の新聞が楽しみです。記事の枠をうまくとっていただいて、今日の子どもの議会の記事がどの新聞にも載せていただけるよう、これも大きな河南町の宣伝、河南町の魅力を伝える大きな方法にもなりますから。

それを願い大変なご苦労に対して感謝を申し上げて閉会のご挨拶といたします。大変ありがとうございました。ご苦労さまでした。

